

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

4-Ⅲ-3

4-Ⅲ-3

章 節	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	安全対策の整備
	Ⅲ. 安全対策の徹底	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	3 構成資産等の安全対策	関連団体	県治山課、県農地計画課、県河川整備課、県文化行政課、佐渡地域振興局(地域整備部、農林水産振興部)、佐渡市防災管財課、(株)ゴールデン佐渡
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】 ○危険箇所への安全対策を通じて、来訪者の安全確保を図る。</p> <p>【事業内容】 ○危険箇所や安全設備設置状況の現況把握に努め、危険箇所が確認された場合は、関連機関との情報共有・調整を図りながら、危険箇所への安全設備の整備や周知等の対策を講じる。</p>		
30事業計画と実績	<p>【30年度計画】 ●平成29年度に作成した一般向けの見学マナー醸成用のチラシを佐渡汽船や関係施設等に設置するほか、ホームページ上で周知を図る。</p> <p>【30年度実績】 ●見学マナー醸成用のチラシを関係施設等に設置したほか、ガイダンス施設開館イベントの周知に伴いホームページ上に公開した。 ●鶴子银山跡に安全対策のためのサインを7基設置した。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 ■引き続き、危険箇所の現況把握に努める必要がある。 ■来訪者に向けた見学マナーの周知徹底を図る必要がある。 ■構成資産内における立入禁止区域の設定と周知(3-21)・見学モデルルートの構築(4-II-5)・散策道の整備(4-Ⅲ-2)との連携が必要である。</p> <p>【今後の取組】 ■ガイダンス施設等で見学マナーの周知徹底を行う。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 ◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 [a ● b ● c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a ● b ● c]</p> <p>【総合評価】 [A ● B ● C]</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。